

人工肛門閉鎖術を受ける患者さんへ



患者名

様

主治医

担当看護師

経過	入院日(手術前日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目	手術後7日目	手術後9日目～
日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
患者の達成目標	・手術について理解できる ・手術の準備をすることができる	・安心して手術を受けることができる	・体温、脈拍、血圧が安定している	・腹痛、吐き気、腹部膨満がない ・創部の発赤、腫脹、疼痛がない							
治療処置	・入院中は週に1回体重測定します ・看護師がおへその中をきれいにしていきます	・血栓予防のため、弾性ストッキングを履きます(着用は、医療スタッフが行います) ・手術着に着替え、手術室へ入室します	・心電図モニターを装着し、適宜血圧測定を行います ・点滴を行います ・抗生剤を投与します	・通常毎朝病室で医師が傷の確認を行います ・点滴は継続します   						・通常毎朝病室で医師が傷の確認を行います ・食事の摂取量が安定すれば点滴は終了します	・通常毎朝病室で医師が傷の確認を行います
検査				・採血があります ・胸とお腹のレントゲンがあります 		・採血があります ・胸とお腹のレントゲンがあります 				・採血があります ・胸とお腹のレントゲンがあります 	
薬剤	・普段使用している飲み薬、塗り薬、貼り薬、水薬、目薬を確認します(病院で同じものをすぐに用意できない場合があります) ・14時と寝る前に下剤を内服します	・必要な内服薬をお持ちします	・内服薬は飲みません	・内服薬の再開は、主治医へ確認後に説明します							
食事		・絶食です 		・主治医診察後は、嘔気なければ少量飲水飲めます		・術後3日目の昼食後から流動食を開始します	・術後4日目の昼食から3分粥を開始します	・術後5日目の昼食から5分粥を開始します 	・術後7日目の昼食から全粥を開始します		
安静活動	・制限はありません		・ベッド上安静です	・主治医の診察後が終了し、安静度制限はありません(必要に応じて、安静度制限がありますので、ご説明します)							
排泄	・制限はありません		・手術室で尿管を入れます	・医師の診察後に尿管を抜去します							
清潔	・おへその掃除が終わったらシャワー浴をします	・シャワー浴できません		・点滴や腹部にガーゼやチューブが入っている間は、シャワー浴できません(必要であれば看護師が体を拭きます) 							
患者家族への説明	・手術の同意書にサインをいただきます ・マニキュア、ジェルネイルは入院前までに除去して下さい ・転倒、転落に注意して下さい(退院まで) ・麻酔医が麻酔の説明をします 	・手術室へ行く時は、貴重品は家族に預けて下さい ・眼鏡、コンタクト、入れ歯、指輪など金属や湿布類は外して下さい	・痛みがある時は、遠慮なくお知らせ下さい ・体の向きをかえる希望がある場合はお手伝いします	・傷の痛みや腹痛、吐き気、腹部膨満がある時は、遠慮なくお知らせ下さい ・術後1日以降、リハビリを開始します ・入院中に栄養指導が2回あります。日程はお知らせします 							

※この予定表はあくまでもおおよその目安です。個々の身体能力、体調等により経過は様々です。

※ご不明な点はお気軽にスタッフにおたずねください。

2026年1月 作成